

F.G.L 研究会 WG 1 第 1 回議事録

日時：7月8日（金）15：00～16：30

場所：機械振興会館 B3-6 会議室

出席者：川村氏，土橋氏，似内先生，広中先生，岩田氏，大森氏，柏谷氏，中岩氏，中島氏，三浦氏，横関氏，黒川幹事，菊池（議事録）

[議題]

- 1．自己紹介
- 2．活動内容，活動方法などについて
- 3．次回会議について

[議事]

- 1．自己紹介

メンバーの自己紹介が行われた。

- 2．現状の課題，今後の活動内容などについて

現在の日本における問題点，今後の進め方などについて話し合いが行われた。

- ・ 現在の日本における指針を作る必要がある。
- ・ 食品工場用潤滑油剤とは何かをイロハから社会に広く知らせる必要がある。
- ・ 現在，日本ではスプレー商品の中に H1 と 3H の両方を取得している物がある。H1 は潤滑剤で 3H は食品添加物なので食べても安全という表現をしているが，H1 単独の承認製品は決して食べても安全とは言ってはいけないものである。そういった点についてユーザーに説明が非常に難しい。
- ・ この意見は、商品の内容を熟知していない表れで、理由は原料の食品添加物が食品添加物としての性質と潤滑油としての潤滑性能を有するという二つを併せ持ったもので、鉱油には無い特性と説明すれば納得させられる、初歩的な悩みである。
- ・ 食品機械用潤滑油というと，ユーザーからアレルギーなどについても質問があるが，NSF ではそこまで対応していない。
- ・ 有機栽培などの関係で，有機農法などの商品に対して H1 潤滑剤を使用しても JAS マークが使用できるのかどうかははっきりしない。この点は HACCP との連帯が必要
- ・ NSF との連携ということで，情報をもらうだけではなく，日本に NSF を根付かせるためにはどうしたら良いのかなど，発信していく必要がある。
- ・ ISO22000 も認可が遅れているので，促すためにも NSF との連携が必要。
- ・ NSF で市場調査を行いたいという話があったが，どういう理由で行うのか，また数字に意味を持たせることも難しいのでイメージをつかむ程度で終わってしまう。

- ・ 食品業界はプラントから個人業務まで幅広いため、難しい。
- ・ NSF の記載は英語のため、メーカー毎に解釈に若干違いが生じ、またユーザーに説明段階でも変化していくので、解釈を統一させる必要がある。
- ・ この点について、NSF からの連絡事項は日本語で送られるように矢野氏に依頼するしかないのでは??
- ・
- ・

3 . 次回会議開催日

日時：8月24日(水) 14:00~17:00

場所：機械振興会館4階 日本トライボロジー学会会議室

次回開催されるまでに内容などの検討が必要なため、今後WG1での活動内容について意見等を7月末迄にリーダーの川村氏までメールをすること。

以上